

高等学校 1年生 保健体育科学習指導案

令和 6年 12月 19日

中学校・高等学校（1）年 25名

1 単元名 大単元「 現代社会と健康 」 小単元（ 性感染症・エイズとその予防 ）

2 単元について

我が国の疫病構造や社会の変化に対応して、健康課題や健康の考え方が変化するとともに、様々な健康への対策、健康増進の在り方が求められている。したがって、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする必要がある。また、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題に関して理解するとともに、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要がある。

このため、本内容は、我が国においての現代の健康課題がみられること、健康の考え方が変化してきていること、健康の保持増進には健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりに関わること、感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られ、それに対応した対策が必要であること、生活習慣病などの予防と回復には調和のとれた生活の実践とともに疫病の早期発見、治療及び社会的な対策が必要であること、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康や社会に大きな影響を与えることから、個人への働きかけや社会環境への対策が必要であること、精神疾患の早期発見や罹患後の対策が必要であることなどを中心として構成している。

3 単元の目標

知識・技能	現代社会と健康について、健康を保持増進するための一人一人の深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようになる。
思考力・判断力・表現力等	現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
学びに向かう力・人間性	現代社会と健康について保持増進するためには、自分の健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

4 生徒の実態と指導観

このクラスは比較的明るく、友達同士も仲が良く発言も積極的である。仲が良い反面、授業中でも話し声が無くならないことが多いため、発言やグループワークをする時間と話を聞く時間のメリハリを大切に指導していきたい。また、男女混合クラスとなる為、男女ともに性感染症の予防について考えていけるような指導を行っていきたいと思う。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疫病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりに関わることを理解している。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取り組み及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疫病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 ・喫煙と飲酒は、生活習慣などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
1	健康の考え方と成り立ち			
2	私たちの健康の姿			
3	生活習慣病の予防と回復			
4	がんの原因と予防			
5	がんの治療と回復			
6	運動と健康			
7	食事と健康			
8	休養・睡眠と健康			
9	喫煙と健康			
10	飲酒と健康			
11	薬物乱用と健康			
12	精神疾患の特徴			
13	精神疾患の予防			
14	精神疾患からの回復			
15	現代の感染症			
16	感染症の予防			
17	性感染症・エイズとその 予防 ・性感染症 ・エイズ ・個人の取り組み ・社会全体が行う対策		○	
18	健康に関する意思決定・ 行動選択			

19	健康に関する環境づくり			
----	-------------	--	--	--

7 本時の展開

① 本時の目標

- ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。
- ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。

②展開

段階	学習活動【 学習内容 】	指導上の留意点 ◇評価
導入 8分	・挨拶、学習シートに名前を記入する ・本時の目標確認 ・「インフルエンザや、コロナウイルスにならないためにどんな対策をしていますか？」と問いについて個人で考え、ワークシートに記入する。 ・感染症の予防は性感染症の予防とは異なることを知る	○挨拶をしたら、学習シートを配布する。提出がある為、名前を記入するように促す。 ○本時の目標を黒板に記入し、目標を明確にする。 ○「インフルエンザや、コロナウイルスにならないためにどんな対策をしていますか？」と問いかけ、前回の復習をしながら考えワークシートに記入させる。 ○感染症と性感染症の予防の違いについて、資料を使い分かりやすく説明をする。
展開 35分	【性感染症について知る】 ・性感染症の感染経路について理解し、感染症の予防では効果がないということを知る。 ・主な性感染症4つを知る。 ・性感染症は、治療を受ければ完治しますが、放置してしまうと起きることについて知る。 ・不妊について詳しく知る。 ・子宮外妊娠について知る。	○性感染症の感染経路について説明し、手洗いがいなどでは、防げないことを説明する。 ○p48資料1を用いて、主な性感染症4つについて、病名、症状と特徴について説明する。 ○性感染症は治療を受ければ完治することを伝え、放置すると不妊の原因になったり子宮外妊娠を起こしたりHIVに感染しやすくなることを説明する。 ○不妊とは、「生殖可能な状態で、避妊をしていないにも関わらず1年以上妊娠しない状態のこと」、「性感染症に罹ったからというだけでなく、原因は様々で男性側の場合も、女性側の場合もある」ということ説明する。 ○子宮外妊娠について、資料を使って説明をする。感染すると起こる症状や子宮外妊娠をすると出産にたどり着くことは困難なことを説明する。

【エイズについて知る】 ・エイズの正式名称『後天性免疫不全症候群』免疫に異常が出る病気ということを理解する。 ・潜伏期間の恐ろしさについて知る。 ・感染してから無症状の期間が続くことが多いため自分が感染していることに気付かず感染が広がってしまうことを理解する。	
発問1：このグラフから読み取れることはなんですか？	
予想される生徒の反応： ウイルスに感染している人数と、エイズに発病している人数は差がある	○個人で考え、グループで考えをまとめて発表させる。
・エイズの薬について、症状を遅らせたり、発症を遅らせたりする薬があるが、完治をする事はないと言うことを理解する。	
発問2：性感染症の危険を避ける為には性行為をしないことしかないのだろうか？	
予想される生徒の反応： コンドームをつける、怖いからしない方がいい	○コンドームを正しく使う事によって HIV は7～8割、淋病6割、クラミジア3割感染を減少させることができる事を説明する。 ○恥ずかしがらずに危険を感じた際には検査を受ける場所がある事を説明する。
【病気への予防に対する個人の取り組みを学ぶ】 ・性感染症の予防について、コンドームを正しく使えば、性行為をしても感染のリスクを大きく減らすことができる事を知る。 ・感染している疑いがあるのならば、早期受診をして確かめ、治療をはじめることを説明する。 ・全国の保健所ではエイズの検査を匿名・無料で受けることができることを知る。	

	・性感染症の広がりやについて知る。 ・『特定の相手としか性行為をしないから大丈夫』『自分の相手は安全』という考え方について自分事として考え直す。 【社会全体がおこなう対策について知る】 ・社会全体ではどのような活動が行われているか ・東京都 HIV 等検査予約センターについて知る ・学校近くの多摩立川保健所での活動について知る ・世界エイズデー、HIV 検査普及週間について知る(フランスのファッションブランドアニエスベーのチャリティーグッズ販売等)	○資料を用いて性接触の繋がりについて説明する。 ○性感染症や、エイズについての啓発活動が行われている事について資料を用いて説明する。 ◆現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ＜A 評価とするポイント＞ 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを詳しく表現している。 ＜C 評価とするポイント＞ 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているが、それらを表現できていない。 ＜努力を要する生徒への手立て＞ 個別に健康や安全に関する原則や概念に着目させ、資料を提示し解決方法を思考判断できるように指導する。
ま と め 7分	・性感染症・エイズとその予防について学んだことを生かして今後どのように生活していきたいか、決意を学習シートに記入する。	○授業を通して考えたこと・今後に生かしていきたいことを学習シートに書かせ、意思決定させる。 ○個人と社会での予防策や対策に対して自分はどういうことができるかを考えさせ学習シートに記入するよう促す。

8 板書計画

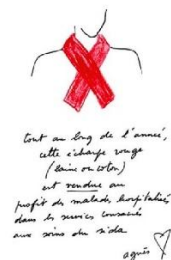
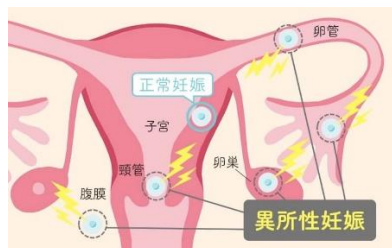
本時の目標	【エイズについて知る】 ・絵や図を提示 ・発問の際は資料2を提示する	【病気への予防に対する個人の取り組みを学ぶ】 ・資料3を提示する
【性感染症について知る】 ・図や絵を提示		【社会全体がおこなう対策について知る】 ・p49の⑦ポスターを提示

9 資料

・p49資料1

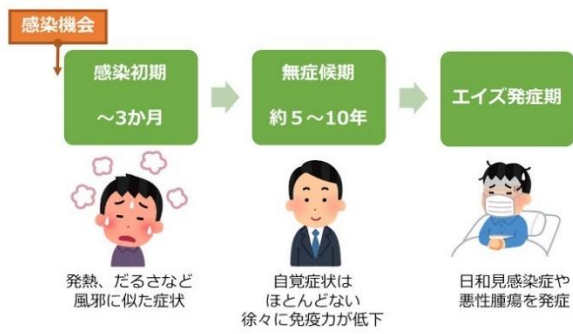
・資料

表9-1 おもな性感染症			
病名	病原体	潜伏期間	症状と特徴
性器クラミジア感染症	クラミジア・トラコマアイス	1〜3週間	男女とも自覚症状がない場合が多い。男性は、尿道口から膿が出る。女性は、不正出血の原因となる。
淋菌感染症	淋菌	2〜7日	男性は、尿道から膿が出る。女性も、尿道から膿が出る。また、子宮炎の原因となる。
性器ヘルペスウイルス感染症	単純ヘルペスウイルス	2〜12日	男女とも genital 潰瘍をともなう小さな水疱ができる。また、痛みや痒みを感じる。再発しやすい。
梅毒	梅毒トレポネーマ	3週間	梅毒螺旋菌によって真新しい、しこりやリンパ節の腫れ、発熱の発熱などの症状が出る。梅毒の感染。胎児に感染することもある。



≡ agnès b. a a





HIVは、こんなことでは感染しません

HIVは感染力の弱いウイルスなので、
性行為以外の日常生活では感染しません。

握手
軽いキス

つり革
手すり
トイレの便座

お風呂
プール

蚊
ノミ

せき
くしゃみ
あせ
なみだ

回し飲み
同じ料理を食べる

血液の付着しやすい、カミソリ、歯ブラシなどの共有は避けましょう。